



# 銅・銅合金の応力腐食割れ試験

ご要望の応力を付与して、応力腐食割れの評価を実施することが可能です。

- 黄銅に代表される銅合金の時期割れの評価を、JIS法に加えて積極的に応力を付与する試験にて可能としました。
- 付与する応力水準を変えての試験が可能です。プレス加工における許容残留応力の評価にお役立て下さい。
- アンモニア雰囲気です定の応力が負荷された環境を再現いたします。

## 試験の仕様

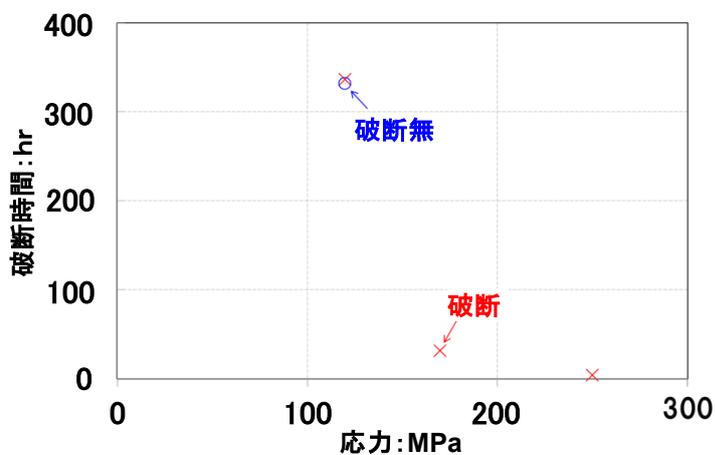
|      |                                     |      |  |
|------|-------------------------------------|------|--|
| 対象材料 | ・銅、銅合金                              | 試験方法 | ・定荷重応力腐食割れ試験<br>試験片: φ10mm × 長さ180mm<br>・残留応力下での浸漬試験<br>試験片: 実製品 |
| 試験環境 | ・アンモニア雰囲気<br>(他の環境での試験についてもご相談ください) |      |  |
| 試験温度 | ・室温                                 |      |  |

## 応力付与試験装置



定荷重応力腐食割れ試験機

## 定荷重試験実施例



黄銅の定荷重引張試験結果(例)

以下のようなご相談にも応じます。

- ・試験片サイズはご相談ください。
- ・複数条件を同時に実施することができます。(最大N=4)  
試験数が多い場合ご相談ください。
- ・材料によっては残留応力の測定も可能です。
- ・負荷応力など様々な応力レベルに対応できます。